

地 域 保 健

1 健康づくりの推進

(1) 市民総ぐるみ健康づくり運動

個人、家庭、地域社会が一体となって気軽に楽しく健康づくりに取り組んでいけるよう「みんな元気！さがみはら ~笑顔で 楽しく 健康づくり~」をキャッチフレーズに「市民総ぐるみ健康づくり運動」を平成 15 年度から重点的に推進している。市民が身近な場所で日常的に健康づくりに取り組めるよう、市民主体の健康増進組織「さがみはら市民健康づくり会議」と連携し、地域に根ざした健康づくりを効果的に推進している。

(2) 健康フェスタ

市民の健康意識の高揚に役立てる機会とするため、「さがみはら市民健康づくり会議」とのパートナーシップにより実施している。

- ・日時 平成 26 年 10 月 18 日(土)
- ・会場 ウェルネスさがみはら
- ・内容 講演会、健康体験コーナー、健康相談等
- ・参加者 約 700 人

(3) 健康づくり普及員

地域での健康づくりを推進していくため、健康づくり普及員養成講座を修了した者が公民館区毎の健康づくり活動、運動習慣支援事業、高齢者のための体操教室、保健医療計画に対応した重点課題事業、子育て支援事業等を行っている。また、全市的な健康づくり活動を行う他に、活動に必要な研修会等を実施している。

- ・平成 26 年度の状況 普及員数 181 人 事業実施回数 712 回 参加者数 21,741 人

2 母子保健法等による保健事業

(1) 母子健康手帳の交付

妊娠・出産・育児に関する母子の健康状態を一貫して記録しておくためのものとして母子健康手帳を作成し、妊娠の届出をした者に対して交付している。

- ・平成 26 年度の状況 妊娠届出数 5,956 人 交付数 6,120 冊(うち、外国語版 94 冊)

(2) 健康診査事業

ア 妊婦及び乳幼児に対して、疾病の早期発見や健康管理及び育児支援のため、各種健康診査を集団又は個別で実施し、必要に応じて保健指導を実施している。

平成 26 年度の状況

- ・妊婦健康診査 受診者数 延 69,421 人
- ・妊婦歯科健康診査 実施回数 59 回 受診者数 218 人
- ・乳幼児健康診査

	実施回数(回)	受診者数(人)
集団健診	334	21,586
個別健診	(医療機関)	16,694

イ 乳幼児健康診査等で専門医による診察・相談等が必要な乳幼児に対し実施している。

平成 26 年度の状況

- ・乳幼児経過検診 実施回数 28 回 受診者数 103 人
- ・乳幼児精密健康診査(医療機関) 受診券発行件数 879 件 受診者数 606 人

(3) 訪問指導事業

こんにちは赤ちゃん事業として、母子訪問相談員(保健師、助産師、看護師)が、生後 4 か月までの乳児の

いる家庭を全戸訪問している。また、各乳幼児健診及び相談事業、病院からの依頼等で保健指導が必要な乳幼児や妊産婦を、保健師、栄養士、歯科医師、歯科衛生士が家庭訪問している。

・平成 26 年度訪問人数 延 13,320 人

(4) 健康教育事業

ア 妊娠期から乳幼児期の健康や食生活及び育児、また思春期の正しい知識の普及や健康の保持・増進を目的に実施している。

・平成 26 年度の状況 実施回数 278 回 参加人数 延 10,402 人

イ 乳幼児健康診査等の事後指導教室を実施している。

・平成 26 年度の状況 実施回数 114 回 参加人数 延 2,149 人

(5) 健康相談事業

乳幼児の発育発達や育児に対する不安や悩みが軽減、解消できるよう、保健師による育児相談等を定期的に実施している。平成 26 年度の状況 実施回数 3,838 回 相談人員 延 7,502 人

(6) 医療費援護事業

ア 未熟児養育医療給付事業

入院養育を必要とする未熟児に対し、必要な医療を給付している。

・平成 26 年度の状況 申請件数 216 件 決定件数 216 件

イ 小児慢性特定疾患医療給付事業

特定の疾患に罹患している児童等に対し、必要な医療及び日常生活用具を給付している。

・平成 26 年度の状況（平成 27 年 1 月 1 日から新制度へ移行）

旧制度認定申請件数 650 件 新制度切替申請件数 619 件 決定件数 1,269 件

日常生活用具申請件数 6 件 決定件数 6 件

ウ 自立支援医療（育成医療）給付事業

身体に障害のある児童に対し、必要な医療及び補装具を給付している。

・平成 26 年度の状況 認定申請件数 93 件 決定件数 92 件

補装具申請件数 4 件 決定件数 4 件

エ 特定不妊治療費助成事業

不妊治療の経済的負担を軽減するため、配偶者間の特定不妊治療費に要する費用の一部を助成している。

・平成 26 年度の状況 申請件数 836 件 給付件数 836 件

(7) 先天性代謝異常等検査事業

生後 5～7 日の新生児に対し、フェニルケトン尿症など、19 疾患の早期発見・早期治療のために先天性代謝異常等の検査を実施している。

・平成 26 年度の状況 検査件数 5,950 件

3 健康増進法等による保健事業

(1) 健康手帳の交付

健康診査、医療の記録、生活習慣病の予防及び老後における健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療の確保に資するため交付している。

・平成 26 年度交付数 40 歳以上 3,065 冊 39 歳以下 400 冊

(2) 健康教育

生活習慣病の予防等、健康に関する正しい知識の普及を図ることを目的に個別又は集団で実施している。

・平成 26 年度の状況 実施回数 279 回 参加人数 延 6,390 人

(3) 健康増進事業

運動習慣の定着に向けて各種の健康増進事業を実施している。

・平成 26 年度の状況 実施回数 228 回 参加人員 延 2,920 人

(4) 健康相談

健康に関する相談に保健師、栄養士、歯科医師、歯科衛生士が電話や面接で定例的に応じ、必要な指導及び助言を実施している。

・平成 26 年度の状況 実施回数 2,135 回 相談人員 延 2,593 人

(5) 39才以下の健康相談

自己の健康管理を目的とした健康相談を実施している。

・平成 26 年度の状況 実施回数 14 回 相談人員 延 262 人

(6) 出張健康相談

市民に身近な生活圏域で生活習慣病予防等についての情報提供及び健康相談を実施している。

・平成 26 年度の状況 実施回数 61 回 相談者数 3,371 人

(7) 訪問指導

特定健康診査の結果、医師から保健指導の指示があった人、生保等の健康診査で動機付け・積極的支援の対象となった人等に対して、健康の保持増進及び疾病の発症予防を目的に保健師、栄養士が訪問等による保健指導を実施している。

・平成 26 年度の状況 保健師 165 人 栄養士 0 人

(8) 健康診査事業

ア 生活保護受給者等健康診査

高齢者の医療の確保に関する法律の施行により、平成 20 年度から医療保険者に、40 歳以上の加入者に対する特定健康診査及び特定保健指導の実施が義務付けられたことに伴い、医療保険加入者に含まれない生活保護受給者等に対し、健康増進法に基づき、内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための保健指導対象者を抽出することを目的に特定健康診査に相当する健康診査を実施している。

・平成 26 年度実績 対象者数 8,186 人 受診者数 548 人

イ がん検診

がんの早期発見、早期治療を図るため、市内の公共施設で実施する集団検診と市内の協力医療機関で行う施設検診を実施している。

平成 26 年度の実施状況

(単位：人)

種別	胃がん	大腸がん	子宮がん	乳がん	肺がん
集団	3,564	4,016	3,417	1,804	3,831
施設	21,185	40,979	26,434	22,637	41,973
計	24,749	44,995	29,851	24,441	45,804

休日検診

休日における集団検診を年 28 回実施している。

平成 26 年度の実施状況

(単位：人)

種別	胃がん	大腸がん	子宮がん	乳がん	肺がん
休日	1,978	2,306	1,890	960	2,145

ウ 成人歯科健康診査事業

生涯にわたる健康づくりの一環として、40～80 歳を対象に成人歯科健康診査（お口の健康診査）を実施している。

・平成 26 年度実績 5,028 人

口腔がんの早期発見、早期治療を図るため、相模原口腔保健センターで口腔がん検診を実施している。

・平成 26 年度実績 180 人

(9) 骨粗しょう症予防事業

骨粗しょう症を予防し、ねたきり者を減少させるために、骨密度測定及び生活指導教室等を実施している。

・平成 26 年度の状況 実施回数 21 回 参加人員 906 人

4 栄養改善事業

(1) 食生活改善推進員の養成及び育成

栄養改善の普及・推進を図るため、地域における食生活改善の推進者として食生活改善推進員を養成するための講座を開催している。又、相模原市食生活改善推進団体わかな会に対し、必要な知識・技術を習得するための研修会等を実施している。

・平成 26 年度の状況 食生活改善推進員養成講座(全 18 回) 受講者数 25 人 修了者数 25 人

・平成 26 年度食生活改善推進団体わかな会 会員数 453 人

(2) 栄養表示推進事業

食を通じた健康づくりを推進するため、栄養に関する表示をしようとする食品製造業者に対して、栄養表示基準に基づく適切な表示や誇大広告の禁止の指導を実施している。又、市民自らが健康づくりを実践できるように健康づくり応援店事業(外食栄養成分表示の普及)や市民対象の講座を実施している。

・平成 26 年度の状況 表示改善等指導 12 件、外食栄養成分表示の個別指導 43 件、収去検査 0 件

外食栄養成分表示の集団指導 11 件、市民対象の講座(栄養表示等)11 回 参加者数 366 人

(3) 特定給食施設等指導事業

特定多数の人に継続的に食事を提供している施設に対して、利用者の健康確保のための給食提供が計画的・衛生的に行えるように、栄養管理や食品衛生に関する知識の習得及びこれらの改善や向上を図るため、巡回指導及び講習会等を実施している。

・平成 26 年度の状況 個別指導 314 件 集団指導 実施回数 4 回 参加者数 343 人

(4) 専門栄養相談

難病、未熟児、その他専門的な食事療法を必要とする人に対し、栄養相談を実施している。

・平成 26 年度の状況 集団指導 実施回数 13 回 延 111 人

(5) 地域における食生活改善事業

ライフステージに応じた、適切な食生活実践の支援。

・平成 26 年度の状況 生活習慣病予防のための講話・調理実習 実施回数 28 回 参加者数 630 人

生活習慣病予防のための普及・啓発 実施回数 1 回 参加者数 800 人

介護予防のための講話・調理実習 実施回数 28 回 参加者数 475 人

(6) 食育推進事業

生涯にわたって健全な心身を培い豊かな人間性を育むことが求められており、地域、家庭、多様な関係団体等が連携する必要があるため、その環境整備と効果的な取り組みの検討・実践を行っている。

・平成 26 年度の状況 食育推進委員会 2 回 食育推進検討ワーキング 3 回

食育フェア 実施回数 1 回 実 693 人

食育講座 実施回数 15 回 406 人

食育の普及・啓発 実施回数 12 回 延 2,913 人

5 口腔衛生事業

専門的、技術的な支援を必要とする乳幼児や在宅療養者等に対し歯科保健指導を行うと共に、歯科保健の啓発のために学校巡回指導を実施している。

(1) 継続歯科健康診査

重度う蝕につながるリスク要因を保有している乳幼児に対して、継続的な歯科保健指導を実施している。

・平成 26 年度の状況 受診児数 延 58 人

(2) 特別歯科相談

心身に障害を有する者に対して、歯科保健指導を実施している。

・平成 26 年度の状況 受診者数 延 20 人

(3) 歯科保健普及啓発事業

歯科保健に対する意識の向上に向けた普及啓発活動（お口の元気チェックコーナー等）を実施している。

・平成 26 年度の状況 実施回数 41 回 参加者数 1057 人

(4) 学校歯科巡回指導

市内小学校の 2、5 年生を対象に学校歯科巡回指導を実施している。

・平成 26 年度の状況 学校数 72 校 クラス数 397 クラス 人数 11,816 人

6 働く人の健康づくり地域・職域連携事業

働き世代の健康づくり推進のため、「働く人の健康づくり地域・職域連携推進連絡会（下部組織に作業部会）」において地域保健と職域保健の連携を図り、連絡会事業計画に基づき連携事業を実施している。

・平成 26 年度の状況 連絡会 2 回 作業部会 5 回 連絡会事業 1 回

7 人材育成

(1) 臨床研修医・実習生指導

公衆衛生の実践を学ぶ場として、保健所において臨床研修医や保健医療系学生の実習生を受け入れている。

・平成 26 年度の状況 臨床研修医 3 人 保健医療系学生 106 人

(2) 研修

専門知識の向上を図るため、集合研修の開催、国・県や民間研修機関等が開催する専門研修に職員を派遣している。

平成 26 年度の状況 集合研修 18 件 参加人数 524 人

派遣研修 135 件 参加人数 229 人

8 保健衛生統計

厚生労働省が所管する人口動態調査・国民生活基礎調査等の保健衛生統計を実施している。

9 相模原市保健衛生功労者表彰

保健衛生事業に永年にわたり従事し、保健衛生の向上に寄与した方に対し、その功労を表彰している。

日 時 平成 26 年 10 月 28 日(火) 場 所 市民会館 第一大会議室

受賞者数

保健衛生事業の推進に功労のあった方	22 名・4 施設
相模原市非常勤職員等として功労のあった方	13 名
合 計	39 件

10 墓地等紛争あっせん・調停

墓地等を経営しようとする申請者と近隣住民等との間で調整がつかなかった場合に「相模原市墓地等の経営の許可等に関する条例」に基づき、あっせん及び調停を行う。（平成 26 年度は実績なし）

【地域保健課・健康企画課・緑保健センター・中央保健センター・南保健センター・城山保健福祉課・津久井保健福祉課・相模湖保健福祉課・藤野保健福祉課】

医 事 薬 事

1 医療の安全性確保対策事業

(1) 医事指導事業

医療法等の規定に基づき病院、診療所等に対する許認可や各種届出の受理及び監視指導を行うことにより、良質な医療を提供するための安全性の確保を図っている。

医療機関数

平成 27 年 3 月 31 日現在

病院	診療所		医療法人	助産所		あん摩・鍼・灸等		柔道 整復所	歯科 技工所	衛生 検査所
	一般	歯科		助産所	出張	施術所	出張			
37	416	360	190	9	7	319	252	228	104	6

病床数・人口 10 万対数

基準とした人口は平成 27 年 3 月 31 日現在 (722,534 人)

	計	病院病床数						有床 診療所
		小計	一般	療養	精神	結核	感染症	
病床数	8,037	7,864	3,968	2,765	1,125	0	6	173
10 万対数	1,112	1,088	549	383	156	0	1	24

申請等件数

平成 27 年 3 月 31 日現在

	病院	診療所	医療法人	助産所	あん摩・ 鍼・灸等	柔道 整復所	歯科 技工所	衛生 検査所
申請	116	81	17	3	-	-	-	0
届出	190	553	502	12	143	89	17	6
立入検査	74	87	0	22	31	33	8	7

(2) 救急告示医療機関

平成 27 年 3 月 31 日現在、市内では、北里大学が救命救急センターとして、相模原協同、晃友脳神経外科眼科、相模原赤十字、森田、総合相模更生、相模原伊藤、相模原中央、相模野、淵野辺総合、黒河内、独立行政法人国立病院機構相模原、丘整形外科、東芝林間、森下記念の 14 病院、山瀬整形外科の 1 診療所が救急告示医療機関(「救急病院等を定める省令」昭和 39 年厚生省令第 8 号)として認定されている。

(3) 医療安全相談窓口事業

市内医療機関と患者との信頼関係の構築を支援するため、専任の看護師を配置して医療に関する疑問・相談を受け付けている。

・平成 26 年度相談件数 1,262 件

2 献血等事業

必要とする血液を確保するため、市民への献血思想の普及を図ると共に、計画的に街頭献血や事業所等の献血を推進している。また、骨髄バンク登録会を実施し、骨髄バンク事業の普及と啓発を図っている。

・平成 26 年度献血者数 7,350 人

・平成 26 年度骨髄バンクドナー登録会

日 時 平成 26 年 4 月 6 日(日) 場 所 桜まつり会場 登 録 5 人

日 時 平成 26 年 10 月 19 日(日) 場 所 相模大野中央公園 登 録 8 人

3 医薬品等の品質及び安全性確保対策事業

(1) 薬事指導事業

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の規定に基づき薬局、医薬品販売業等の許可、毒物劇物販売業の登録等及び監視指導を行うことにより、医薬品等の品質及び安全性の確保を

図っている。また、営業者等に対する講習会を実施し、営業者等の知識の普及向上を図っている。

薬事施設数

平成 27 年 3 月 31 日現在

薬局	薬局製造販売 医薬品製造業等	医薬品販売業	医療機器等販売業・貸与業		毒物劇物販売業等
			高度管理	管理	
287	52	162	374	2,168	228

申請等件数

平成 27 年 3 月 31 日現在

	薬局	薬局製造販売 医薬品製造業等	医薬品販売業	医療機器等 販売業・貸与業	毒物劇物販売業等
申請	100	2	20	40	32
届出	1,086	6	334	655	72
監視	129	10	79	204	66

・平成 26 年度講習会 年 6 回実施、受講者総数 320 人

(2) 薬物乱用防止対策事業

広域化、低年齢化傾向にある薬物乱用問題に対処するため、地域の団体との連携を図り、地域における薬物乱用防止推進体制を整備するとともに、市民に対する積極的な啓発活動を推進している。

- ・平成 26 年度薬物乱用防止啓発キャンペーン 年 6 回実施
- ・平成 26 年度薬物乱用防止講習会 平成 27 年 1 月 20 日(火)実施 参加人数 104 人
- ・平成 26 年度薬物乱用防止連絡会 平成 26 年 6 月 2 日(月)実施 参加人数 22 人
- ・平成 26 年度薬物乱用防止教室 平成 27 年 2 月 23 日(月)実施 参加人数 282 人

疾 病 対 策

1 結核対策

(1) 感染症診査協議会(結核診査部会)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下「感染症法」という。)に基づき、市長の諮問に応じ、結核患者に対する指定医療機関への入院勧告、就業制限及び医療費の公費負担の申請に関する必要事項を審議する。

- ・平成 26 年度実施状況 43 回開催(定例会月 2 回(24 回) 臨時会 19 回開催) 委員数 8 人

(2) 市民結核健康診断

感染症法に基づき、65 歳以上の市民で、胸部 X 線撮影を受ける機会のない人を対象に、市内の学校・公民館等を会場にして健康診断を実施している。

- ・平成 26 年度実施状況 間接撮影 受診者数 1,785 人 52 会場((公財)神奈川県結核予防会に委託)

(3) 結核患者管理検診

結核登録者に対して、結核の予防または医療上必要があると認めるとき、感染症法に基づき、精密検査を行う。

- ・平成 26 年度実施状況 99 人

(4) 結核患者接触者健康診断

感染症法に基づき、結核患者の接触者に対し、まん延防止を図るため、定期外の健康診断を行う。

- ・平成 26 年度実施状況 746 人

(5) 結核患者の服薬支援

結核患者が確実に抗結核薬を服用することにより、結核のまん延を防止するとともに、多剤耐性結核の発生を予防することを目的に保健所保健師及び市に登録している看護師・薬局薬剤師等による患者の服薬状況の確認を行っている。

2 感染症対策

(1) 感染症発生患者対応

ア 平成 26 年度一～三類感染症発生届出件数

一類 0 件、二類 0 件、三類 12 件

イ 感染症法に基づき、感染症のまん延を防止するため、一類感染症及び結核を除く二類感染症の患者を必要に応じて指定医療機関へ入院勧告後、移送し、医療費を負担する。

ウ 感染症診査協議会（感染症診査部会）

感染症法に基づき、市長の諮問に応じ、一類感染症及び結核を除く二類感染症の患者に対する入院の勧告及び一～三類感染症の患者への就業制限に関する必要な事項を審議するため、必要に応じて開催する。

・平成 26 年度開催回数 0 回 委員数 8 人

エ 新型インフルエンザ等の発生・流行に対し、感染拡大を抑制し健康被害を最小にするため、必要資機材の備蓄を行う。

オ 感染症法に基づき、必要に応じて一～四類感染症の患者発生家屋と大雨時の浸水家屋等の消毒を実施する。

・平成 26 年度 感染症の患者発生家屋及び浸水家屋消毒の実施なし

(2) 感染症発生動向調査

感染症法に基づき、感染症の発生情報を収集し、情報を関係機関に還元する。

3 性感染症予防対策

(1) エイズ検査・相談

エイズの感染予防を図るため、匿名による抗体検査や相談を行う。

・平成 26 年度実施状況 検査人数 509 人 相談件数 1,019 件

(2) 性感染症検査・相談

性感染症の発生の予防及びまん延の防止を図るため、性器クラミジア・梅毒について匿名による抗体検査や相談を行う。

平成 26 年度実施状況

	検査人数(人)	相談件数(件)
クラミジア	436	865
梅毒	445	885

(3) エイズ予防の啓発活動

エイズ予防の正しい知識の普及啓発イベント、講演会等の開催

4 肝炎対策

肝炎検査・相談

感染者の早期発見・早期治療を図るため、肝炎ウイルス感染の心配がある者に対し無料の B 型・C 型肝炎ウイルス検査・相談を行う。

・平成 26 年度実施状況 検査・相談人数 168 人

5 予防接種

(1) 予防接種法に基づき次の予防接種を実施した。(協力医療機関数：162)

A類疾病 ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ)、三種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風)、二種混合(ジフテリア・破傷風)、麻しん風しん混合、麻しん、風しん、日本脳炎、BCG、急性灰白髄炎(不活化ポリオワクチン)、水痘、子宮頸がん予防、
B類疾病 高齢者インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌感染症

平成 26 年度実施状況

個 別	種 別	延べ接種者数 (人)	種 別	延べ接種者数 (人)	種 別	延べ接種者 数(人)
	ヒブ	22,698(27)	麻しん風しん混合	11,429(3)	ポリオ(不活化)	5,400(5)
肺炎球菌	22,461(26)	麻しん	1(0)	水痘	11,307(2)	
四種混合	21,402(16)	風しん	1(0)	子宮頸がん予防	46(0)	
三種混合	2,092(2)	日本脳炎	24,199(5)			
二種混合	3,911(0)	BCG	5,610(3)			
延べ接種者数には市外での接種者も含む					計	130,557

延べ接種者数の()は、助成金制度の実施者数(内数)

・高齢者インフルエンザ予防接種

協力医療機関数 ... 317 接種者数 ... 69,514 人

・高齢者の肺炎球菌感染症定期予防接種

協力医療機関数 ... 263 接種者数 ... 13,737 人

(2) 予防接種法に拠らない、次の任意予防接種を実施した。

個別予防接種 風しん予防接種促進事業 協力医療機関数 ... 177

平成 26 年度実施状況

種 別	抗体検査	予防接種
延べ接種者数(人)	383	128

6 難病対策事業

長期療養となる患者と家族を対象に、よりよい療養生活が送れるよう支援する。

(1) 難病疾患相談 平成 26 年度実施状況 面接 2,947 件 電話 959 件 文書 257 件

保健師等による、相談を実施する。

(2) 難病講演会・相談会 平成 26 年度実施状況 開催回数 6 回 参加者数 238 人 医療相談者数 80 人

家族のつどい 1 回 参加者数 19 人

専門医等による、講演会・相談会を開催する。

(3) 難病患者訪問 平成 26 年度実施状況 保健師 317 件

患者及び家族の療養支援のため、保健師等による家庭訪問を行う。

(4) 「難病患者地域支援ネットワーク会議」の開催 平成 26 年度開催回数 2 回

作業部会 2 回 支援者向け研修会 1 回

関係機関等が連携し、難病患者の療養生活の課題等を検討し、難病患者及び家族の安定した療養生活の確保と生活の質の向上を図る。

(5) 難病患者と家族会 平成 26 年度実施状況 開催回数 14 回 参加延べ人数 173 人

難病患者及び家族の会を開催する。

- (6) **特定疾患医療受給者証等の交付申請受付** 平成26年度実施状況 4,800件
 特定疾患医療受給者証及び特定医療費(指定難病)医療受給者証の申請受付を実施する。
- (7) **難病患者一時入院事業の実施** 平成26年度実施状況 実利用者数 11人 利用実日数 246日
 家族等介護者の休息や疾病等で居宅介護を受けることが困難な場合、患者が一時的に病院に入院する。
- (8) **ホームヘルパー養成研修の実施** 平成26年度実施状況 基礎課程 開催回数1回 56人
 基礎課程 開催回数1回 30人(修了者)
 難病患者等の多様化するニーズに対応した適切なホームヘルプサービスを提供するために必要な知識、技能を有するホームヘルパーの養成を図る。
- (9) **難病疾患の普及啓発**
 難病についての理解と、地域支援ネットワークの推進を図るとともに、難病の患者に対する医療等に関する法律の成立に伴う難病患者への施策の周知を図る。

7 原爆被爆者等援護

- (1) **各種申請受付の実施(神奈川県への進達事務)**
- ア 被爆者健康手帳等の申請受付 平成26年度実施状況 3件
 - イ 被爆者の医療給付の申請受付 平成26年度実施状況 37件
 - ウ 各種手当の申請受付 平成26年度実施状況 118件
- (2) **平成22年度政令指定都市移行により、市単独事業として実施を開始する。**
- ア 原子爆弾被爆者はり・きゅう・マッサージ療養費助成事業を実施する。平成26年度実施状況 34件
 - イ 原子爆弾被爆者の子に対する医療費助成事業を実施する。平成26年度実施状況 91件

生 活 衛 生

1 食品衛生事業

(1) 食品衛生関係営業施設等指導事業

食品衛生法等に基づき、監視指導計画を策定するとともに、この計画に基づく食品関係営業施設の許可及び監視指導、学校給食等集団給食施設等の監視指導を行い、衛生確保を図った。

- ・平成26年度許可件数 新規1,041件、更新689件
- ・平成26年度監視指導件数 許可営業施設5,261件、報告営業施設5,033件

(2) 食品等の衛生確保対策事業

食品衛生法等に基づく食品検査、寄せられた食品衛生に関する苦情や相談に対応するとともに、食中毒等の危害発生防止を図るため、期間を定めての食品等の重点的な点検を行った。

- ・平成26年度食品検査 1,067件、苦情対応 334件
- ・平成26年度食品衛生総点検 夏期 7月1日から8月31日まで
 年末 11月1日から12月26日まで
- ・平成26年度食中毒 発生件数 9件、他の自治体からの食中毒関連調査依頼件数 50件

(3) 食品衛生思想の普及啓発事業

営業者等に対する講習会や広報等を通じて、衛生思想の普及向上に努めるとともに、営業者や市民に対し

て注意を喚起するなど啓発活動を行った。また、食品関係団体の指導育成、営業者の自主管理体制の促進等を図った。

- ・平成26年度食品衛生講習会 122回実施、受講者数5,948人

2 環境衛生事業

(1) 環境衛生関係営業施設指導事業

旅館、興行場、公衆浴場、理容所、美容所及びクリーニング所について、許可又は確認を行うとともに、各施設の監視指導を行い、衛生確保を図った。また、一般開放されているプール施設についての監視指導を実施し、利用する市民の健康と安全の確保を図った。

講習会や広報等を通じて営業者等の衛生思想の普及向上、各環境衛生関係団体の指導助言、営業者の自主管理体制の促進等を図った。

- ・平成26年度許可(確認)件数 82件
- ・平成26年度監視指導件数 822件
- ・平成26年度プール施設監視指導件数 45件
- ・平成26年度講習会5回実施、受講者数322人

(2) 生活環境施設等の監視指導事業

多数の人が利用する建築物や専用水道など水道施設等の維持管理に関する監視指導、衣料品等家庭用品に起因する健康被害の発生を防止するため試買検査を実施し、市民の安全で快適な生活環境の確保を図った。

また、住宅における化学物質等による健康影響(シックハウス症候群)について、市民への普及啓発、個別相談等の適切な助言指導、情報提供を行い安全で快適な居住環境の確保を図った。

- ・平成26年度監視指導件数 特定建築物30件、専用水道等70件
- ・平成26年度家庭用品試買検査 75検体
- ・平成26年度室内空気環境 相談件数4件、測定件数2件

3 狂犬病予防対策及び動物愛護事業

(1) 狂犬病予防事業

狂犬病の発生予防等を図るため、犬の登録、狂犬病予防定期集合注射、放浪犬の捕獲・抑留等を実施した。

- ・平成26年度新規登録頭数 2,668頭、注射頭数 32,311頭、犬の捕獲・抑留頭数 111頭

(2) 犬猫等に関する相談・苦情への対応

犬猫等に関する相談や苦情に対し、助言、調査及び必要に応じて指導を行った。

- ・平成26年度苦情・相談件数 犬 1,263件、猫 735件、その他の動物 20件
- ・平成26年度失踪・保護情報の受付件数 失踪 523件、保護 524件

(3) 犬のこう傷等事故の発生と再発防止指導

発生した犬のこう傷等事故に対し、再発防止指導を行った。

- ・平成26年度こう傷等事故件数 23件

(4) 犬猫の引取り等

動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、犬猫の引取り、負傷動物の収容や処置を行った。

- ・平成26年度犬猫の引取り数 犬24頭、猫71匹 負傷動物収容・処置数 犬5頭、猫60匹

(5) 動物愛護事業

犬猫がみだりに繁殖して適正な飼養が困難になることを防止するため、犬猫の不妊去勢手術に対する費用の一部を助成した。また、飼い主がしつけ方・飼い方を学ぶための犬のしつけ方教室等を開催した。

- ・平成26年度不妊去勢手術助成頭数 犬：双311頭、枚258頭 猫：双905匹、枚574匹
- ・平成26年度犬のしつけ方教室 3回実施 受講者数98人、飼い方等の相談 7回実施 相談者数106人

(6) 第一種動物取扱業及び第二種動物取扱業

動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、ペットショップ等の第一種動物取扱業の登録、監視指導及び動物取扱責任者研修の開催、動物愛護ボランティア等の第二種動物取扱業の届出受理、監視指導を行った。

- ・平成 26 年度登録・届出件数 第一種動物取扱業 37 件、第二種動物取扱業 3 件
- ・平成 26 年度監視指導件数 第一種動物取扱業 119 件、第二種動物取扱業 8 件
- ・平成 26 年度動物取扱責任者研修 2 回実施 受講者数 239 人

4 生活害虫等駆除事業

生活害虫の駆除等に関する相談、指導及びスズメバチの駆除事業を実施し、被害等の防止を図った。

- ・平成 26 年度スズメバチ駆除件数 551 件
- ・平成 26 年度はち・ねずみ・昆虫等苦情・相談件数 939 件

衛 生 研 究 所

衛生検査

1 市民等からの依頼検査

平成 26 年度検査実施状況 (検体数)

水質検査	108
放射性物質検査	52

2 市が行う検査

平成 26 年度検査実施状況 (検体数)

性感染症に関する検査	梅毒検査	445
	性器クラミジア検査	436
	HIV 検査	509
結核に関する検査		442
感染症発生動向調査	細菌検査	7
	ウイルス検査	75
感染症に関する検査		131
食中毒に関する検査		405
食品に関する検査(収去等)	微生物学検査	553
	理化学検査	* 392
環境に関する検査	飲料水の水質検査	0
	浴槽水・採暖槽の水質検査	109
	排水等の水質検査	82
	家庭用品の検査	75
	大気の検査(悪臭)	0
放射性物質に関する検査	食品検査	574
	飲料水(簡易水道等)検査	50
	その他	210
苦情に関する検査		29

* いわゆる健康食品の医薬品成分検査 5 検体を含む。